

普及現地情報
令和4年6月29日
久慈農業改良普及センター
記入者 小原 聡大

豚ふんペレットで水稻の肥料費削減へ！

水稻栽培の肥料費削減のために、地元で生産された安価な豚ふんペレットを活用し、化成肥料代替実証を（農）宇部川ファームにて行っています。

豚ふんペレットの春散布と化成肥料を組み合わせることで水稻生産に適した施肥量を調査しています。

令和4年6月からの肥料価格高騰のニュースを受け、実証農家からは、「豚ふんペレットにより化成肥料の代替となれば肥料コストを大幅に抑えられるのではないか。」との期待が高まっています。

本実証で用いる豚ふんペレットは、管内の養豚の農業法人（野田村、柁のだファーム）で製造されているものですが、大半は県外や海外に流出しており、地域内では未利用のものでした。特徴は、ペレット状で、ハンドリングしやすく、既存の機械で散布が行えます。

今後は、生育調査で各試験区の生育の比較を行うとともに、ドローン空撮による生育の差を見える化や経営評価を行う予定です。



左：散布した豚ふんペレット（サイズは直径5mm×20mm程度）
右：ブロードキャスタによる豚ふんペレットの散布